

グローバル展開プログラム(研究テーマ公募型研究テーマ)

◆課題:「グローバル人文学:日本文学・芸術・思想の普遍性の探究」

◆研究テーマ:「絵ものがたりメディア文化遺産の普遍的価値の国際共同研究による探求と発信」

研究期間: H29.2~H31.9

委託費総額: 23,372千円

<研究代表者>



阿部泰郎:名古屋大学文学研究科/教授

<専門分野>

宗教テキスト学・中世文学

<Webページ>

<https://www.lit.nagoya-u.ac.jp/cht/>

<研究目的・概要>

日本の絵ものがたり文化は世界から注目されるが、その基盤となるメディア文化遺産としての整備と、その生成にいたる歴史的文脈の解明や、機能・意義の解釈が未だに充分になされていない。



人文諸学の領域を総合した海外研究者との多角的な共同研究

- 米・仏・独の中堅美術史研究者と共同し、多角的な方面から連携
- アジアの絵ものがたり伝承文化研究者とも共同研究・調査・各種絵ものがたりのワークショップを行う
- 総合的な絵ものがたりの世界を復原する試みに挑戦



絵ものがたり文化遺産としての普遍的価値を、世界へ効果的かつ多元的に発信する。

<研究計画の特徴>

五つのプロジェクトの相乗による多元・多角的な研究

- 海外所蔵絵巻・絵本の網羅的調査と資源化
- 絵ものがたり作品の革新的注解/現代語訳と国際共同翻訳出版
- 絵ものがたり基幹歴史文献の国際共同研究・翻刻・ウェブ出版
- 室町学芸・宗教・芸能および博物学・本草学などから多角的な注釈的研究
- 絵解きの伝承の復原・継承・創造を通じた説話画・宗教画の意味、復元的文化遺産化とメディア化



<目標とする研究成果>

絵ものがたり最先端メディアの創造と発信

高度なデジタル・イメージ・コンテンツを活用して実験的なモデルを創りだし、学術研究の先端成果を組み合わせたあらたな絵ものがたり最先端メディアを創造する。また英・中・その他の国際版も制作して、それら豊かな世界の可能性を一般市民に提示することで、人文学の存在意義を社会に認知させる。

<将来展望>

絵ものがたり文化遺産の未来への発展的継承へ

- ⇒加速する絵巻・絵本と絵解き説話画の網羅的な調査・発見、それらを悉くデジタル・コンテンツとし、原本も保存・活用へ
- ⇒あらゆる人文学上の文化資源であり、その価値を示すことで日本が世界に貢献する社会的な先導役を果たす

⇒さらなる文化遺産の創造へ